

## 特定非営利活動法人スサノオの風

# 令和 6 年 度(第 2 2 期) 活 動 報 告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 1 はじめに

スサノオの風は、2003年の設立以来、スサノオホール、佐田スポーツセンター、文化練習館の指定管理業務を軸として事業を展開してきました。近年は、人口減少が進む佐田地域の地域活性化事業にも取り組み、評価を得ているところです。また、障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、佐田地域で唯一の障がい者の通所施設であり存在価値は高いものがあると考えています。

昨年度は、最低賃金の引き上げ、ガソリンをはじめとする諸物価の高騰、施設老朽化、佐田地域での人口減少(81人減)と経営環境が一段と厳しさを増しました。こうした中、共同募金会助成事業を活用してやまびこ園の車両購入、「佐田おたすけ隊」の活動を拡充させる目的で「高齢者生きがい活動促進事業」の受託を実施しました。

スサノオホールでは、世界で活躍する「ドラム タオ」公演など利用者が9,000人を超え文化・地域拠点としての機能を高めました。反面、施設の老朽化により雨漏り、空調機器の故障トイレの排水詰まりとトラブルが相次ぎました。

佐田スポーツセンターでは、平日、土・日曜日の夜間利用がない日が増加し利用者減少につながっています。このままの状態が続くと存在価値が揺らぐおそれがあります。文化練習館は、文化団体の利用が定期的にあります。

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、作業工賃のアップを目指して社員・利用者の努力がされていますが、重度状態の利用者の対応に時間を割くケースも増えています。送迎など経費の見直しに迫られています。

また、昨年度に続き、佐田町文化協会、出雲市スポーツ協会佐田支部、佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」、農村 RMO 事業「佐田地域づくり協議会」の事務局を担当しました。

財政面は横ばい状態で経常収益 6,307 万円、経常費用約 6,358 万円となり、税引き後約 51 万円の減益となりました。

## 2 基幹会議

### 2-1 令和 6 年度社員総会

- 開催日 令和 6 年 7 月 2 日(火) 午後 6 時 30 分
- 開催場所 スサノオホール 視聴覚室
- 出席者 50 名(うち表決委任者 34 名) 会員総数 75 名
- 提出議案 ・令和 5 年度活動報告、令和 5 年度活動計算書の承認について

- ・令和 6 年度活動計画(案)、令和 6 年度活動予算書(案)について
- ・定款の変更について
- ・役員の選任について
- ・令和 6 年度役員報酬額(案)について
- ・字句の一部修正の委任について

## 2-2 理事会

### 【第1回理事会】

- 開催日 令和 6 年 6 月 7 日（金） 17 時 30 分から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 9 名 理事総数 10 名
- 提出議案
  - ・令和 5 年度決算について
  - ・嘱託社員の雇用について
  - ・赤い羽根共同募金助成制度による車両の購入について
  - ・須佐神社大遷宮に係る寄付について
  - ・役員の改選について
  - ・定款の変更について
  - ・令和 6 年度定期総会の開催について
  - ・社員夏季賞与の支給について
  - ・ドラム タオ公演及び会員割引について

### 【第2回理事会】

- 開催日 令和 6 年 7 月 9 日（火）18 時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7 名 理事総数 10 名
- 提出議案
  - ・理事長（代表理事）の選任について
  - ・副理事長の選任について
  - ・理事長報酬について

### 【第3回理事会】

- 開催日 令和 6 年 10 月 22 日（火）18 時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7 名 理事総数 10 名
- 提出議案
  - ・最低賃金改訂に伴うバイト社員時給の改正について
  - ・出雲商工会特別会員加入について
  - ・窪田小学校閉校記念行事に係る協賛について

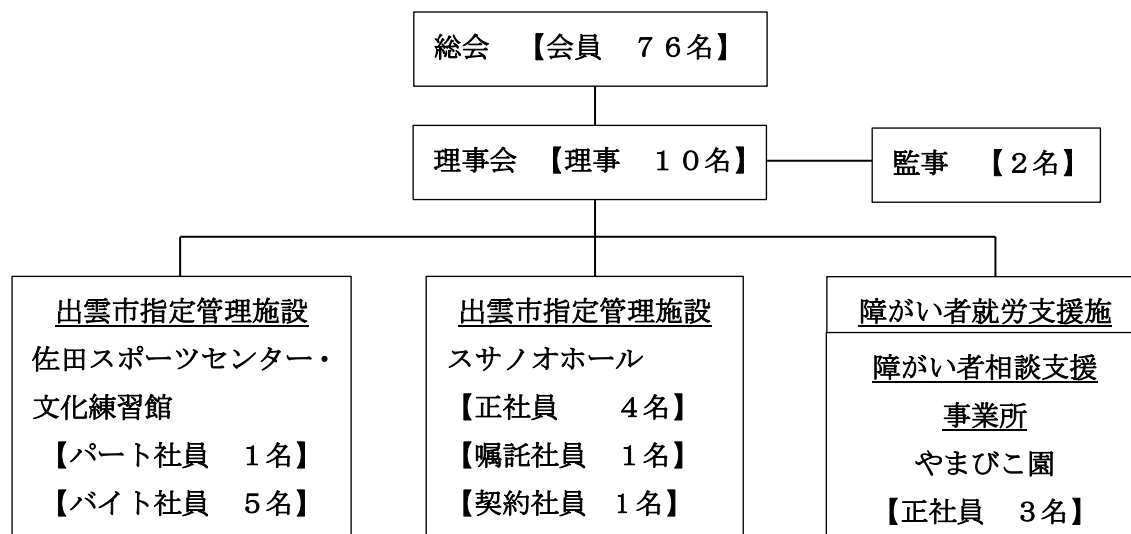
### 【第4回理事会】

- 開催日 令和 7 年 3 月 31 日（月）18 時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室

□出席者 8名 理事総数 10名

- 提出議案
- ・令和7年度社員体制について
  - ・出雲市観光基本計画に基づく「地域観光戦略会議 地域事務局」業務の受託について
  - ・佐田地域づくり協議会事務局業務の受託について
  - ・指定管理施設の管理体制について
  - ・令和7年度 事業計画（案）について
  - ・令和7年度 予算（案）について
  - ・就業規則の一部改正について
  - ・正社員給与規程の一部について
  - ・短時間正社員就業規則の制定について
  - ・やまびこ園正社員給与規程の制定について
  - ・令和7年度理事長報酬額について
  - ・令和7年度スサノオホール舞台技術年間委託料について

#### 組織体制（令和7年3月31日現在）



#### ★令和6年度中の社員の推移

- |                |     |
|----------------|-----|
| ・令和6年4月1日現在社員数 | 15名 |
| ・令和6年度中退職社員数   | 2名  |
| ・令和6年度中採用社員数   | 0名  |
| ・令和6年度末社員数     | 13名 |
- ※社員は、パート社員を含む。

### 3 指定管理施設受託事業

#### 3-1 スサノオホール、佐田スポーツセンター、文化練習館の管理運営

実施区分：委託事業

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

実施内容：指定管理業務仕様書に基づき、各施設の使用受付、利用料金徴収、清掃業務等を実施しました。また、利用促進を図る自主事業を実施しました。(後記)

利用実績：スサノオホールは、催事や会議利用の増加により利用者が9,199人と近年では最高値を記録しました。利用者の居住別割合では佐田地域は依然として低く、利用割合の向上が一つの課題となっています。佐田スポーツセンターは、平日の利用が極めて少なく特に月曜日・水曜日の夜間利用がない状態が続いています。人口減少と学校体育館利用が影響していると考えます。

スサノオホール、体育館ともに老朽化が進み、修繕箇所が増加傾向にあります。特にホールの屋根防水の劣化による雨漏の発生、空調機器の不具合、トイレの排水詰まり、体育館の水切り板落下など修繕対応に追われていますが、多額の経費を要することから令和7年度へ先送りされているケースもあります。ホールは、誘導灯取替、無停電電源装置交換等、スポーツセンターではトイレ照明のLED化等を実施しました。

##### ★スサノオホール

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和6年度	9,199	170	1,356,997
令和5年度	8,548	167	1,615,813
対前年比	651	3	-258,816

##### ★佐田体育館・グラウンド

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和6年度	9,327	579	922,547
内 体育館	5,619	476	624,087
令和5年度	9,768	577	1,066,863
内 体育館	5,944	471	764,633
対前年比	-441	2	-144,316

##### ★文化練習館

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和6年度	1,589	98	123,108
令和5年度	1,373	97	136,624
対前年比	216	1	-13,516

## 4 文化振興事業

### 4-1 佐田町文化協会事務局の運営(事業支援)

佐田町文化協会事務局の運営を担当。常任委員会、評議員会等会議の開催、出雲市文化団体連合会会議、出雲市芸術文化振興会議への参加。文化協会自主事業への支援（チケット販売等）。

- ・スサノオの里スーパー神楽 2024・出雲神在月市民芸術文化の祭典
- ・さだ芸能発表会 2024

### 4-2 スサノオホール利用促進事業(出雲市委託事業)

#### ★スサノオのこどもフェスティバル 2024

開催時期：令和6年6月29日（土） 10時～15時30分

実施内容：親子で音楽、大道芸、パントマイム等を楽しんでもらおうと、県内外のアーティスト5組を招いて開催しました。同日、ロビーではマルシェの開催や授乳室やキッズコーナーを設けるなど、お子さん連れにも安心して楽しめるように努めました。終盤では、ステージにかぶりついている子どもたちの姿が印象的でした。また、チラシに間違い探しや迷路を取り入れたのも好評でした。

来場者：277人



ステージにかぶりつき



最後はみんなでフィナーレ！

#### ★市民のアート展

##### ①企画展「7月28日の出雲の空襲～ふるさとが戦場になった日～」

開催時期：令和6年7月23日（火）～令和6年8月18日（日）

実施内容：高嶋敏展氏企画制作、高塚久司氏特別協力による戦争から平和を考える展示を開催しました。今まであまり知られてこなかった、山陰地方で最大の空襲被害のあった昭和20年7月28日に焦点をあて、事実のまとめや写真、その当時を体験した方の証言などを展示しました。

来場者：205人

##### ②写真展「むらくも座2018年公演の記録」

開催日時：令和6年10月6日（日）～令和6年11月3日（日）

開催内容：10月20日（日）に開催された「むらくも座2024」の公演にあわせて、

地域の記録屋の村岡大吾郎さんが過去に撮影した 2018 年「むらくも座公演」の写真を展示しました。

来 場 者：226 人

### ★SADA OUTDOOR THEATER

開催時期：令和 6 年 9 月 8 日（日）13 時～14 時 30 分

実施内容：当初は、令和 6 年 8 月 30 日（金）に、スサノオホール屋外に巨大スクリーンを設置し、広々とした中で大迫力の映画鑑賞の予定でしたが、台風 10 号の接近に伴い、開催を延期としました。実施日の 9 月 8 日（日）は、10：00～13:00 に「さだのちいさなマーケット cotaba」を開催し、その流れで、映画上映会に参加いただきました。また、日中の開催のため、会場を大ホールに変更し、「Stand by me」の上映を実施しました。  
日程の延期と屋内での上映のため参加費も無料にし、より多くの方にご鑑賞いただける機会としました。

来 場 者：45 人

### ★スサノオからの挑戦状Ⅱ 謎解きゲーム～農と食と謎解きと～

開催時期：令和 6 年 11 月 3 日（土）9：30～14：30

実施内容：佐田のイベント「ごっこいまつり」にあわせ、スサノオホール及びまつり会場を舞台に、佐田地域づくり協議会（農村 RMO 事業）での活動を内容に盛り込んだ謎解きゲームを開催しました。参加者の大半は家族連れで、特に小学生を含む親子での参加が多く、幅広い世代の方たちに、佐田の取り組みや、現状を周知することができました。また、スタッフにインタビューする場面もあり、文字だけでなく、会話の中で理解してもらえることができました。

来 場 者：84 名 ※スマートフォン使用台数は 21 台

### ★BIG LOVE HUNTER REVIVAL

開催時期：令和 6 年 12 月 8 日（日） 開催中止

実施内容：チラシの配布及びホームページや SNS を使い、参加者の募集を呼びかけた結果、男性 10 名（満員）、女性 0 名の参加となりました。この結果をうけ、開催不可能と判断し、開催を中止としました。  
今回は想定外の結果となりましたが、参加対象の年代や、当日の内容及び移動手段、応募状況や応募者情報の開示など、改善できる余地があることを認識できました。また、広報している中で、「地域にとって、とても良い取り組みで、興味がある」、「人が減っているから、いろいろとやってみることはいいことだ」などの意見もあり、今後再び企画する意義があると感じました。

### ★スサノオのこども劇場プチ

開催時期：令和 7 年 3 月 9 日（日） 11：00～13：00

実施内容：普段から、子どもと近い距離で活動をしている 3 組の皆さんにご出演いただき、出演者とお客さんの距離が近い、スサノオホールの入口スペースで開催しました。パネルシアターや歌、読み聞かせに紙芝居、腹話術にマジックなど、分かりやすい内容のパフォーマンスをしていただきました。

来 場 者：87 人





#### 4-3 「DRUM TAO 2024 “FUTURE” 出雲公演」 共演：さだ須佐太鼓

実施日時：令和 6 年 9 月 28 日（土） 13 時 30 分～

実施内容：世界観客動員数 1,000 万人を誇る、“DRUM TAO”とさだ須佐太鼓のコラボ公演。DRUM TAO にとって他団体との共演は初の試み。本事業が決まり、地元の方々からも DRUM TAO 公演を待ち望む声が多く寄せられました。呼応するように公演の本番では、太鼓の響き、ダンス、映像、そして客席が一体となり、両団体のパフォーマンスに会場中が歓喜にあふれていました。観客からは、“太鼓や笛の和楽器の音に、とても感動しました”“とても素晴らしかった。また出雲で公演してほしい”などの声をいただきました。また、幅広い年代の方に聴いてもらうことができました。県外からの観客も一定数あり、出雲へ来るきっかけにもつながったと思います。本事業を通して、幅広い世代へ伝統芸能・文化への興味関心を高めることができました。

来 場 者：384 人





#### 4-4 しまね映画祭「高津川」＆「ワン・セカンド～永遠の24フレーム～」

実施日時：令和6年10月6日（日） 10時～

実施内容：「しまね映画祭」は、映画館のない町にも映画をお届けし、大きなスクリーンでその醍醐味を楽しんでいただきたい。そんな思いでスタートした島根県内の公共ホールで実施される映画祭です。スサノオホールでは午前の部に錦織良成監督の「高津川」上映と監督のトークショー、午後の部でチャン・イーモウ監督の「ワン・セカンド ～永遠の24フレーム～」を上映しました。「高津川」は、佐田の実情と類似した点が多く、故郷、人のつながりを強く感じる作品でした。

来場者：61人（午前の部 52人 午後の部 9人）

## 5 スポーツ振興事業

### 5-1 出雲市スポーツ協会佐田支部事務局の運営（事業支援）

出雲市スポーツ協会佐田支部事務局の運営を担当。理事会、評議員会等会議の開催、出雲市スポーツ協会会議への参加。

### 5-2 スポンジサバゲー体験会 in 体育館

実施日時：令和6年9月21日（土） 10時～

実施内容：近年、大人を中心に流行しているサバイバルゲーム（サバゲー）を体育館内で実施しました。今回は主にこどもやサバゲー初心者向けに、スポンジの弾で遊ぶナーフサバゲーを体育館で行い、対戦方式で実施しました。

来場者：41人（午前の部 21人 午後の部 20人）





説明を受け、ゲーム開始です



防御フェンスを利用し相手に攻撃です

## 6 福祉事業

### 6-1 障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」運営

実施時期：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する精神・知的・身体障がい者の皆さんの通いの場として「やまびこ園」を運営しました。ナカバヤシ等の軽作業を中心に取組み、工賃アップにつながりました。また、困難ケースもあり社員のスキルアップの必要性が高まりました。また、島根県共同募金会助成事業を利用し普通車両1台(スズキソリオ)を購入しました。

利用人数：1,837人（延べ）



### 6-2 障がい者相談支援事業所「やまびこ園」運営

実施時期：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する精神・知的・身体障がい者の皆さんの相談業務を実施。相談員は2名。

利用人数：131人（延べ）

### 6-3 出雲市第1号通所事業業務（通所型サービスA）「さだ予防教室」運営

実施時期：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する、継続的な運動が必要と認められる要支援認定の高齢者を対象に毎週1回予防教室を開催しました。

利用人数：延べ343人（43回開催）

#### 6-4 「佐田おたすけ隊」の運営

実施時期：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：さだ未来ビジョンの重点項目、農村RMO事業の生活支援の柱として検討が進められてきた有償ボランティア制度「佐田おたすけ隊」が、7月1日から本格稼働しました。利用会員21人、応援会員15人の登録がされ、主に家の周りの草刈り作業に取り組みました。今後、利用・応援会員の増加が課題となっています。

この事業に併せ、出雲市から「高齢者生きがい活動促進事業」を受託しおたすけ隊の消耗品、管理機、除雪機の購入を実施しました。



## 7 中山間地域振興事業

### 7-1 さだのちいさなマーケット cotaba

実施期間：4月14日、6月9日、9月8日、12月8日、3月9日（日） 5回開催

実施内容：飲食や雑貨等の出店や、佐田地域内外の文化団体や音楽活動をする方のミニステージなど地域の賑わいを創出するために“コタバ”を開催しました。

来場者数：1,280人（出店者、関係者、スタッフ含む）





## 7-2 佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」事務局運営

実施期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：佐田自治協会の委託をうけ、「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」の事務局を担当し、さだ未来ビジョンの具現化を図ってきました。部会に5つのワーキンググループが組織化され、特に「生活・福祉WG」「農業・景観WG」「教育・子育てWG」で具体的な事業が展開されました。

## 7-3 佐田地域づくり協議会(農村RMO形成推進事業)事務局運営

実施期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：令和4年度から農林水産省の新規事業として開始された「農村RMO形成推進事業」に佐田地域が採択されたことを受け、事業の推進母体の佐田地域づくり協議会の構成員として参画、事務局を担当しました。令和6年度は事業の最終年度であり、昨年度に引き続き中山間地域直接支払制度(集落協定)の広域化、佐田特産品の販売促進に向けたブランド化「すさのおわけ」、雲海の館にかわる拠点計画の策定、新たな地域運営組織づくりに取り組みました。専任社員1名を採用しました。



津和野町でのサカキ栽培視察



松江市カラコロ広場でのテスト販売

## 7-4 第3種旅行業

実施期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：グループの旅行手配、チケット取扱など実施しました。また、佐田地域等へチラシ配布を行い、受注量の増を図りました。

## 7-8 情報発信事業

実施期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日

実施内容：スサノオの風情報誌「風のたより」3回発行、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、エックス(旧ツイッター)、ライン(サダイズム)を積極的に活用し情報発信を行いました。

## 8 その他の事業

- 8-1 島根大学教育学部 作野広和教授と連携をとり「さだラボフォーラム」の開催、地域振興へのアドバイスを受けました。
- 8-2 出雲市文化施設「朝日たたら」の管理業務を受託しました。
- 8-3 出雲市レンタサイクル貸出業務を受託しました。
- 8-4 各種会議等へ委員出席しました。(出雲市観光戦略会議委員、出雲市社会福祉協議会評議員等)
- 8-5 各種チケット販売を受託しました。

令和6年度事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲および人数	支出額 (千円)
①文化、芸術、福祉の向上に関する事業の普及と宣伝	「文化団体活動支援」 佐田町文化協会の事務局を担当した。	通年	スサノオホール	2人	261人	200
②文化、芸術、福祉の向上に関する事業の企画及び実施	アウトドアシアター スサノオホール外壁にスクリーンを取付、夕涼み映画会を開催する計画であったが、荒天のため延期しホール内で実施した。上映作品は、「スタンドバイミー」	R6.9.8	スサノオホール	5人	45人	153
	「ドラムタオ」公演 世界中で公演活動を実施している和太鼓集団「ドラムタオ」の出雲初公演。オープニングで「さだ須佐太鼓」の演奏で始まり、迫力あるタオの演奏に観客の皆さんは酔いしれていた。また、デジタルビジョンを活用した演出は、スサノオホールで初であった。	R6.9.28	スサノオホール	5人	384人	4,253
	しまね映画祭 佐田会場 島根県民会館等県内文化ホールと共催して行う「しまね映画祭」を開催した。スサノオホールでは、テーマ映画「ワン・セカンド 永遠の24フレーム」と錦織良成監督の「高津川」の上映をした。	R6.10.6	スサノオホール	5人	61人	357
	7月28日の出雲の空襲～ふるさとが戦場になった日～ パネル展 出雲に空襲があった日。多くの島根県民は知りませんどのような被害があった、空襲被害が集中したこの日、人々が戦時下でどのような日常を過ごしていたのかを展示した。	R6.7.23～ 8.18	スサノオホール	5人	205人	50
	「市民のアート展」 むらくも座2018年公演の記録 「むらくも座2024」の公演にあわせて、地域の記録屋の村岡大吾郎さんが過去に撮影した「むらくも座公演」の写真を展示した。	R6.10.6～ R6.11.3	スサノオホール	2人	226人	8
	実施なし。					
④社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成等を目的とした事業への援助及び協力	スサノオのこどもフェスティバル2024 県内外でこども向けに活動しているアーティスト5組を招き、親子と一緒に楽しいステージを繰り広げた。併せてマルシェも開催した。	R6.6.29	スサノオホール	6人	277人	1,223
	謎解きゲーム ～スサノオからの挑戦状2 農と食と謎解きと～ スサノオごとこいまつりに併せ、佐田の農業にスポットをあてた「謎解きゲーム」を実施した。	R6.11.3	スサノオホール外	4人	84人	7
	BIG LOVE HUNTER REVIVAL スサノオホールを利用した婚活イベント。参加者不足のため開催中止。	R6.12.8	スサノオホール	4人	0人	17
	スサノオのこども劇場プチ こども達に人気のアーティスト3組を招き、スサノオホール屋外でパネルシアターや歌、読み聞かせに紙芝居、腹話術にマジックなど、分かりやすい内容のパフォーマンスを繰り広げた。	R7.3.9	スサノオホール	4人	87人	70
⑤スポーツの推進を目的とした事業の企画及び実施	「出雲市スポーツ協会佐田支部の活動支援」 出雲市スポーツ協会佐田支部の事務局を担当した。	通年	佐田地区内	2人	2,787人	165
	体育館でサバゲー 県内でも静かなムーブとなっているサバイバルゲームを佐田スポーツセンターアリーナを会場に開催した。三島笑会と協力して企画・運営を行った。	R6.9.21	佐田スポーツセンター	3人	41人	121
	高校女子バレーボール大会 日程の関係で実施なし。					
⑥スポーツの振興を目的とした各種講習会等への講師派遣	実施なし。					
⑦障害福祉サービス事業	「就労継続支援施設 やまびこ園の運営」 精神・知的・身体障がい者を対象とした就労継続支援施設「やまびこ園」の運営を実施した。また、赤い羽共同募金助成制度を利用して送迎車1台を購入した。	通年	やまびこ園	5人	1,837人	17,756
⑧相談支援事業	「障がい者相談支援事業」 障がい者の生活支援、福祉サービス利用等の相談業務を実施した。また、出雲市の委託を受け、障がい程度区分認定調査業務を実施した。	通年	佐田町内	2人	131人	868
⑨高齢者の介護予防、生活支援に関する事業の企画及び実施	「さだ予防教室」 出雲市からの委託で高齢者の引きこもり防止等を目的に、毎週水曜日介護予防教室を開催した。開催回数は43回。	通年	潮の井ふれあいセンター	5人	343人	726
	「佐田おたすけ隊」 佐田地域の高齢者等を対象に有償ボランティア制度「佐田おたすけ隊」を本格的に稼働した。	通年	佐田町内	10人	29人	647



⑩健康づくり及び介護予防を目的とした各種の研修会等への講師派遣	実施なし。					
⑪スサノオホール、佐田スポーツセンター等公立施設の管理運営業務の受託	<b>「指定管理業務の受託」</b> スサノオホール、佐田スポーツセンター・文化練習館の指定管理業務を実施した。	通年	スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館	11人	20,115人	31,852
⑫佐田地域の集落・団体支援及び研修事業等の企画及び実施	<b>「農村RMO事業」「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」事務局支援</b> 佐田自治協会の佐田地域戦略会議及び専門部会（さだ未来ビジョン推進部会）の事務局及び佐田地域づくり協議会（農村RMO形成推進事業）の事務局を担当した。	通年	スサノオホールほか	5人	2,787人	1,496
	<b>「島根大学 佐田サテライトラボラトリー支援」</b> 島根大学を主として佐田地域の地域課題を共に研究する。また、さだラボフォーラムの開催に際し協力した。	通年	スサノオホールほか	5人	2,787人	0
⑭ツーリズムの企画立案と実施事業	<b>第3種旅行業の実施</b> 佐田地域内外の方を対象に旅行企画の実施、交通チケットの手配等の業務を実施した。	通年	佐田町内・外	1人	55	279
⑮地域関連グッズ等の商品開発及び販売事業	<b>「さだのちいさなマーケットcotaba」</b> 佐田町内外のショップ等とアーティストを招き、年5回開催した。	R6.4～R7.3	スサノオホール内外	5人	1,280人	139
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な	<b>八幡原交流施設「結」の運営</b> （社福）やまゆりから借用している古民家に障がい者通所施設、「やまびこ園」と住民交流スペースを設け維持管理等を実施した。	通年	八幡原交流施設	4人	12人	973
	<b>広報活動</b> 季刊広報誌「風のたより」を4回発行する等、ホームページ・SNSを積極的に運用した。	通年	佐田町内外	5人	2,787人	310
<b>(2)その他の事業</b>						
<b>事業名</b>	<b>事業内容</b>	<b>実施日</b>	<b>実施場所</b>	<b>従事者の人数</b>	<b>受益対象者の範囲および人数</b>	<b>支出額（千円）</b>
イベント各種のチケット販売	佐田町文化協会事業及び出雲市芸術文化振興財団事業についてチケット販売を実施した。	通年	スサノオホール	5人	110人	0